

第2回（10月） 会議録（主な意見）

- 社会教育を一定の科学性・客観性をもった活動とするものとして、企画シートが活用できればと思う。作ることが目的ではなく、あくまで手段であり、「人を、大人をどう育てるか」「どう人をつなげるか」「地域づくりどう進めるか」がある。企画シートがあることで、誰にも同じような説明ができるようになる。
- 最終的にはSDGsの2030年が、自分たちの地域がどんな地域になるのか、どんな地域を目指すのか、それが、SDGsの2030年のある意味では地域の目的となっているので、この企画シートづくりを通して取り組めるのでないか。
- 公民館における事業実施や組織づくりについて、最初に始めた頃は、「こういう考えで、こういう気持ちで始めたぞ。」というのはあったと思うが、それを次の世代にどう引き継いでいくかということが難しいことであると思う。PTAを巻き込んで欲しいと思う。子育て世代を巻き込むことはその子どもたちの意見も取り入れることができる。
- 企画シートを書くことによって、自分たちの活動を振り返り、社会教育における事業・活動として価値付けることができると思う。
- 地域づくりにおいては、市町の職員や社会教育主事、社会教育士の方が中に入って、指導してもらえるような体制ができるとありがたい。
- 将来、地域を担う子どもたちがこのような企画シートを活用して、「地域の課題を明確にして、自分たちのこととしてとらえて、10年後とか、20年後とかの地域像を考える・イメージする」ことはすごく大事なことだと考える。教職員も、地域を知ることはすごく大事である。
- 企画シートの説明会を開く。または、みんなが集まってまずやってみる。そして、いろんな問題が出る中でやっていけばいいのかと思う。新しいものをするのではなく、既存の活動や取組を、みんなで、頭を突き合わせて、シートのどこまであてはめられるか、まず、みんなで作ってみることによって、「ここがこうだ。ここが書きにくい。」とか、出てくるかなと思う。若手もその中に入れ込むことによって、担い手づくりにもなるかなと思う。